

YAMAHA

MIDI スターターキット

MUS-K

トーンジェネレーター	MU5	インターフェースケーブル	IBM/NEC PC-9800シリーズ用
電源アダプター	PA-3	ミュージックソフト	Macintosh/IBM/NEC PC-9800シリーズ用
出力ポート変換アダプター	IBM用		

HELLO!
MUSIC! *First*

取扱説明書

本書の記載事項は、Steinberg Soft- und Hardware GmbH社により予告なく変更される可能性があります。本書はソフトウェア同様にライセンス契約書により契約されています。Steinberg Soft- und Hardware GmbH社の許可なく複製や再販および翻訳、記録することは禁止します。

すべての製品および会社名はそれぞれの商標です。
© Steinberg Soft- und Hardware GmbH 1993 All rights reserved.

取扱説明書 日本語版制作
株式会社 カメオインタラクティブ
ヤマハ株式会社

ごあいさつ

このたびはヤマハMIDIスターターキットHELLO! MUSIC! First MU5-Kをお買いあげいただき、ありがとうございます。

MU5-Kは、音楽ソフトとトーンジェネレーターを組み合わせたコンピューターミュージック再生用のパッケージです。

MU5-Kは以下のコンピューターでご使用になれます。

対応コンピューター： Machintosh

*ただし、68020以上のCPUでSystem 7.0以降

IBM-PC/ATまたはその互換機

NEC PC-9800シリーズ

*ただし、Windows3.1が動作できる386x25MHz以上の機種

同梱品リスト

MU5-Kには、以下の同梱品があります。もし不足している場合はすぐに販売店までご連絡ください。

トーンジェネレーター	MU5
電源アダプター	PA-3
インターフェースケーブル	DB25F→Mini DIN8
変換アダプター（IBM PC/AT用）	25PIN→9PIN
オーディオケーブル	ステレオミニプラグ↔RCAピンプラグ
フロッピーディスク	Windows用×1（デモ曲含む） Mac用×1（デモ曲含む）
MU5取扱説明書	
MU5保証書	
ユーザー登録用紙	
MU5-K取扱説明書（本書）	

MacintoshはApple社の商標です。

PC-9800シリーズは日本電気株式会社の商標です。

IBM-PC/ATはインターナショナルビジネスマシーン社の登録商標です。

MS-DOS/Windowsは米国マイクロソフト社の登録商標です。

目次

ごあいさつ

同梱品リスト

[WINDOWS 版]

ご使用の前に	1
セットアップ	3
ヤマハ MU5 トーンジェネレーターの設定アップ	3
プログラムのインストール	4
MIDI ドライバーのインストール	7
Windows のモードの選択	11
デモ曲集	12
Music Box	13
Music Box とは	13
プログラムの起動	14
ファイル	14
ファイルを Music Box にロードする	15
ファイルの削除	16
再生するファイルの選択	16
ファイルの再生	17
デモの再生	17
ミュージック・ミキサー	18
個々のチャンネルに関するコントロール	18
サウンドの変更	19
スライダー	21
その他の表示とコントロール	21
ファイル名	22
ソングポジション	22
テンポ・コントロール	23
トランスポーター	24
メニュー	24
File メニュー	24
Options メニュー	24
キー・コマンド	26

[Mac 版]

ご使用の前に.....	27
セットアップ.....	28
メモリー容量についての注意.....	28
MIDI ファイルとメモリーについて.....	28
ヤマハ MU5 トーンジェネレーターの設定.....	29
アプリケーションをハードディスクへコピー.....	30
Music Box の起動.....	30
インターフェースの設定のしかた.....	31
Music Box.....	32
Music Box とは.....	32
プログラムの起動.....	33
ファイル.....	33
ファイルを Music Box にロードする.....	34
ファイルの削除.....	35
再生するファイルの選択.....	35
ファイルの再生.....	36
デモの再生.....	37
ミュージック・ミキサー.....	37
個々のチャンネルに関するコントロール.....	37
サウンドの変更.....	39
スライダー.....	40
その他の表示とコントロール.....	41
ファイル名.....	41
ソングポジション.....	42
テンポ・コントロール.....	42
トランスポーター.....	43
メニュー.....	43
File メニュー.....	43
エディットメニュー.....	44
Options メニュー.....	44
キー・コマンド.....	46
ソフトウェア・ライセンス.....	47
Music Box の所有者へのお知らせ.....	47
ソフトウェア・ライセンス契約.....	48
契約条件.....	48
ユーザーサポートサービス.....	53

ご使用の前に

ここでは Music Box をインストールする前に読んでいただきたい注意点について記載します。

ソフトウェア・ライセンス

このマニュアルの 47 ページ以降にソフトウェア・ライセンス契約が記載されています。Music Box をインストールする前に、この契約をお読みください。ディスクのパッケージを開封するとこの契約条件に同意されたものと判断されます。またユーザー登録用紙をご送付いただくと同様に同意された事になります。

ユーザー登録用紙

同封のユーザー登録用紙は必ずヤマハ株式会社 CBX インフォメーションセンターにご送付いただきますようお願いいたします。登録されたお客様は、プログラムの更新に関する情報等、ユーザーサポートサービス（53 ページ参照）を受ける事ができます。必ず登録を済ませてください。

コンピューター

【IBM-PC/AT の場合】

Music Box を使うためには、CPU は 80386 以上のコンピューターで 25MHz 以上のクロックのコンピューター（例えば 80486SX）が必要です。また、グレイスケール、カラー VGA または Super VGA 互換ディスプレイが必要です。

RAM は最小 4MB が必要です。ディスプレイ用フォントは 16 ドットか 20 ドットの使用をお勧めいたします。

【NEC PC-9800 シリーズの場合】

Music Box を使うためには、CPU は 80386 以上のコンピューターで 25MHz 以上のクロックのコンピューター（例えば 80486SX）が必要です。また、グレイスケール又は 640×400 ドット以上のディスプレイが必要です。

RAMは最小限でも5.6MB必要です。この他ハードディスク、マウス、およびMIDIインターフェースが必要です。メモリーの拡張はメモリー専用スロットを使用してください。ディスプレイ用フォントは16ドットか20ドットの使用をお勧めいたします。

Windows

このプログラムは、Windowsのバージョン3.1かそれ以降のバージョンで動作します。MIDIインターフェースとしてCBX-T3シリアル・デバイス・ドライバーをお使いになる場合は、MIDI入力時にバッファリング機能のあるエンハンスモードでの使用をおすすめします。NEC PC-9800シリーズ用のCBX-T3シリアル・デバイス・ドライバーはエンハンスモードでのみ動作します。

インストール

このプログラムは、インストール・プログラムを使ってインストールしないと、動作しません。詳細については「プログラムのインストール」の章(4ページ)を参照してください。

MIDI インターフェース

マルチメディア・エクステンション・ドライバーが添付されている標準MIDIインターフェースなら、どれでも使用できます。

セットアップ

コンピューターがまだ適切にセットアップされていない場合は、そのコンピューターの操作マニュアルに従ってセットアップしてください。また、コンピューターと、ディスクの取り扱いやマウスの使い方(クリック、選択、ダブルクリック、およびドラッグなど)の操作についても、相応の知識が必要です。

先に進む前に、巻頭の「ご使用の前に」と巻末の「ソフトウェア・ライセンス契約」をお読みください。ディスクのバックを開封するか、ユーザー登録用紙を送り返すと、この契約の中の条件に同意したことになります。

ヤマハ MU5 トーンジェネレーターのセットアップ

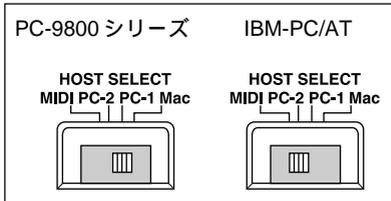
ヤマハ MU5 は、MIDI インターフェースを備えた GM 互換トーンジェネレーターです。このジェネレーターは、16 の異なるチャンネルを通じて MIDI データを受信しながら、同時に 16 種類の音色を再生することができます。それぞれの MIDI チャンネルの音色を選択する方法については、19 ページを参照してください。MU5 のセットアップ手順は以下のとおりです。

コンピューターの電源が切れていることを確認してください。付属のインターフェースケーブルを使って、MU5 の To Host 端子とコンピューターのシリアルポートを接続します。

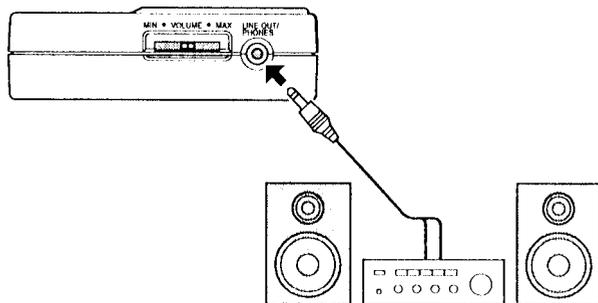
NEC PC-9800 シリーズをご使用の場合は同梱のインターフェースケーブルをご使用ください。
IBM-PC/AT をご使用の場合は同梱のインターフェースケーブルに同梱の 25PIN→9PIN 変換アダプターを付けてご使用ください。

IBM-PC/AT 互換機でシリアルポートが 25PIN の場合は別売のジェンダーチェンジャーをご使用ください。また、付属の変換アダプターが隣りのケーブルとの干渉で接続できない場合は、別途ヤマハ CCJ-PC2 または同等のシリアルケーブルをご用意ください。

MU5 の HOST SELECT スイッチを NEC PC-9800 シリーズをお使いの場合は PC-1 に IBM-PC/AT をお使いの場合は PC-2 にそれぞれ設定します。



付属のオーディオケーブルを使い、MU5のLINE OUT/PHONES端子とオーディオ機器を接続します。



プログラムのインストール

プログラムをハードディスクにインストールする手順は以下のとおりです。インストールを実行すると、自動的に必要なファイルを正しい場所に収めます。

コンピューターを起動してください。

付属のディスク(Windows用)のノブを書き込み禁止側にします。安全の為ハードディスクにコピーして使用するか、またはバックアップのフロッピーを作ってご使用ください。大切なオリジナルのフロッピーは安全な場所に保管ください。

Windows を走らせます。

Windows 用ディスクをディスクドライブ(ここではCドライブと仮定します)に入れます。

Windows のプログラムマネージャーのアイコンメニューから“ファイル名を指定して実行”を選びます。“ファイル名を指定して実行”のダイアログボックスが表示されます。

コマンド欄に C:INSTALL (もし B ドライブにディスクを入れている場合は B:INSTALL) と入力します。
OK をクリックすると MUSIC BOX インストールの実行に入ります。

しばらく待つと以下のダイアログボックスが表示されます。



コマンド行には C:\musicbox と表示されます。これは C ドライブの musicbox という名前のディレクトリーにこれからインストールする事を意味します。

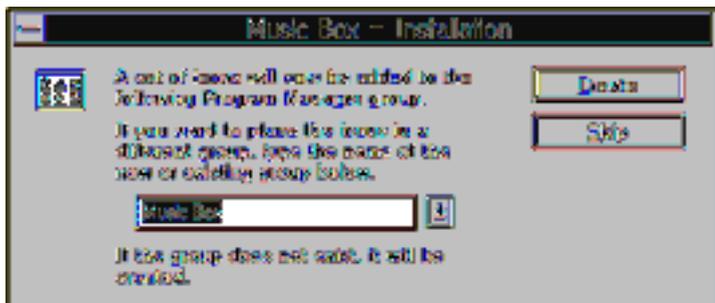
ここで例えば B ドライブにインストールする場合は C:\musicbox を B:\musicbox に変更します。

NEC9800 シリーズでお使いの場合、"\" は [¥] のキーをインプットします。

インストールを中止する場合は Exit install をクリックします。

Continue をクリックするとインストールプログラムが起動します。

インストールが終わると以下のダイアログ表示になります。



Continueをクリックすると表示されたグループ内にアイコンが
できます。

中止するときはSkipをクリックします。

実行すると以下の表示になります。



OKをクリックします。

MIDI ドライバーのインストール

コンピューターのシリアルポートに MIDI データを出力する為には、MIDI ドライバーが必要となります。

1. プログラムマネージャーウィンドウで、メイングループを開き、コントロールパネルアイコンをダブルクリックします。



Fig. 2-1 コントロールパネルウィンドウが開きます。

2. コントロールパネルウィンドウの“ドライバー”アイコンをダブルクリックします。

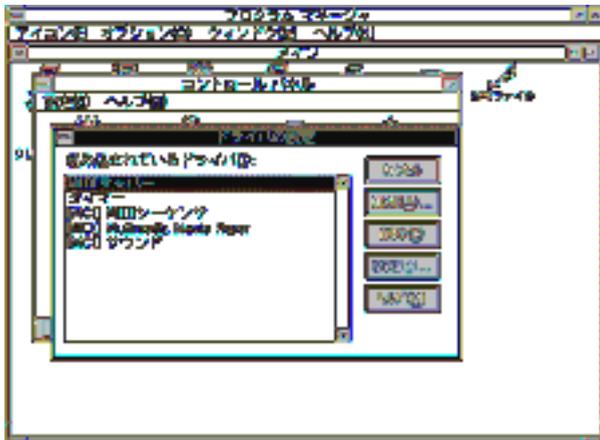


Fig. 2-2 「ドライバーの設定」ダイアログボックスが表示されます。

3. <追加> ボタンをクリックします。



Fig. 2-3 「ドライバーの追加」ダイアログボックスが表示されます。

4. [一覧にない、または更新されたドライバー]が反転している状態で、< OK > ボタンをクリックします。

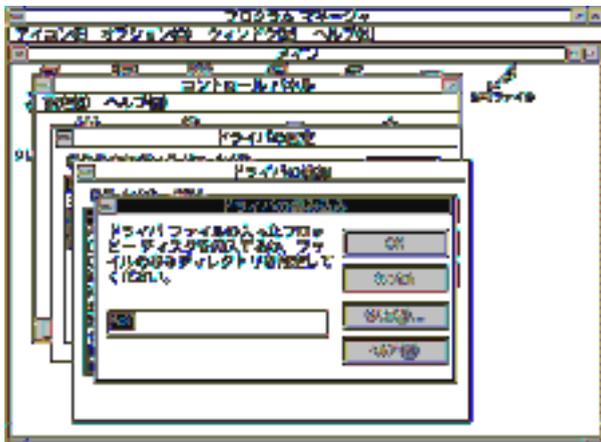


Fig. 2-4 「ドライバーの組み込み」ダイアログボックスが表示されます。

5. ドライバーの入ったDISKをフロッピーディスクドライブにセットします。
テキストボックスにDISKをセットしたドライブ名と、ドライバーの入っているディレクトリ名を入力します。
たとえば、DISKをセットしたのが、ドライブCでNEC PC-9800シリーズをお使いの場合、次図のように入力します。

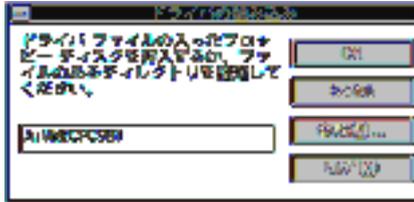


Fig 2-5

IBM-PC/ATをお使いの場合は、A:\IBMPC\と入力して下さい。

6. < OK > ボタンをクリックします。

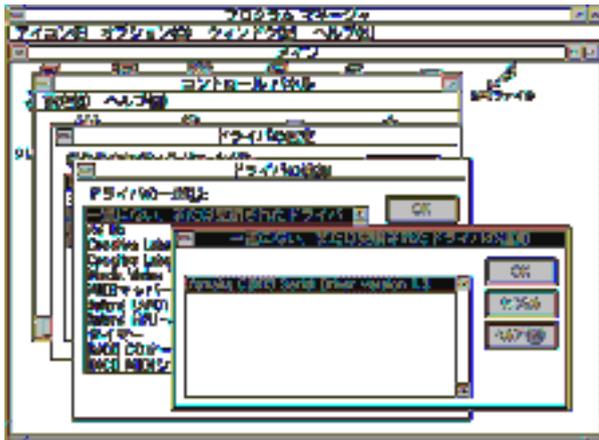


Fig. 2-6 「一覧にない、または更新されたドライバーの追加」ダイアログボックスが表示されます。

7. [Yamaha CBX-T3 Serial Driver version 1.3]が反転している状態で、< OK > ボタンをクリックします。

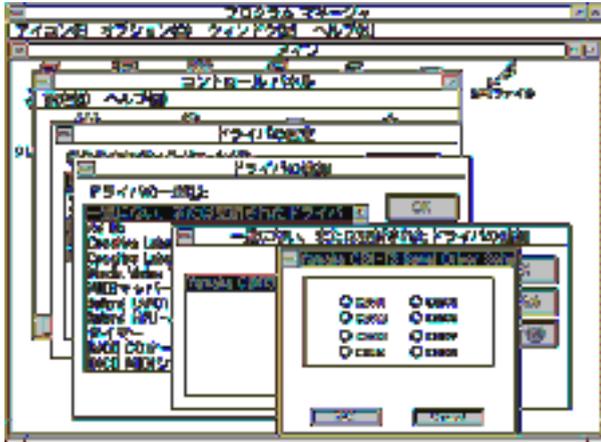


Fig. 2-7 「Yamaha CBX-T3 Serial Driver Setup」ダイアログボックスが開きます。

8. 使用する COM ポートをクリックします。
 NEC PC-9800シリーズをお使いの場合は、COM1を選択して下さい。
 IBM-PC/AT をお使いの場合は、適切なポートを選択して下さい。
 詳しくは画面表示のCBXT3PC(アイコン)をダブルクリックしてお読み下さい。
9. < OK > をクリックします。



Fig. 2-8 「システム設定の変更」ダイアログボックスが表示されます。

10. <再起動> ボタンをクリックします。

追加した MIDI ドライバーを有効にするために、Windows を再起動します。

以上で MIDI ドライバーの組み込みが完了しました。

Music Box は MIDI マッパーをい使いませんので MIDI マッパーの設定は不要です。

MIDI マッパーを使うアプリケーション（メディアプレーヤなど）で、シリアルポートから出力するときは、MIDI マッパーの設定をしてください。

ドライバーについて

Music Box は CBX-T3 ドライバーがインストールされていると CBX-T3 ドライバーを使って出力しようとします。

そのため、ボード等を使って鳴らそうとする場合は、CBX-T3 ドライバーの設定を外し他のドライバーに換えてください。

Windows のモードの選択

[IBM-PC/AT の場合]

このプログラムはスタンダードモードとエンハンスモードのどちらでも動作します。MIDI インターフェースとして IBM-PC/AT 用 CBX-T3 シリアル・デバイス・ドライバーをお使いになる場合は MIDI 入力時にバッファリング機能のあるエンハンスモードでの使用をおすすめします。MIDI 再生だけお使いのときは WIN/S で Windows を立ち上げ、スタンダードモードにすると全体的に画面表示等の処理速度は向上します。現在のモードはプログラムマネージャのヘルプメニューの中の“バージョン情報”を選択して調べられます。NEC PC-9800 シリーズ用の CBX-T3 シリアル・デバイス・ドライバーはエンハンスモードだけで動作します。

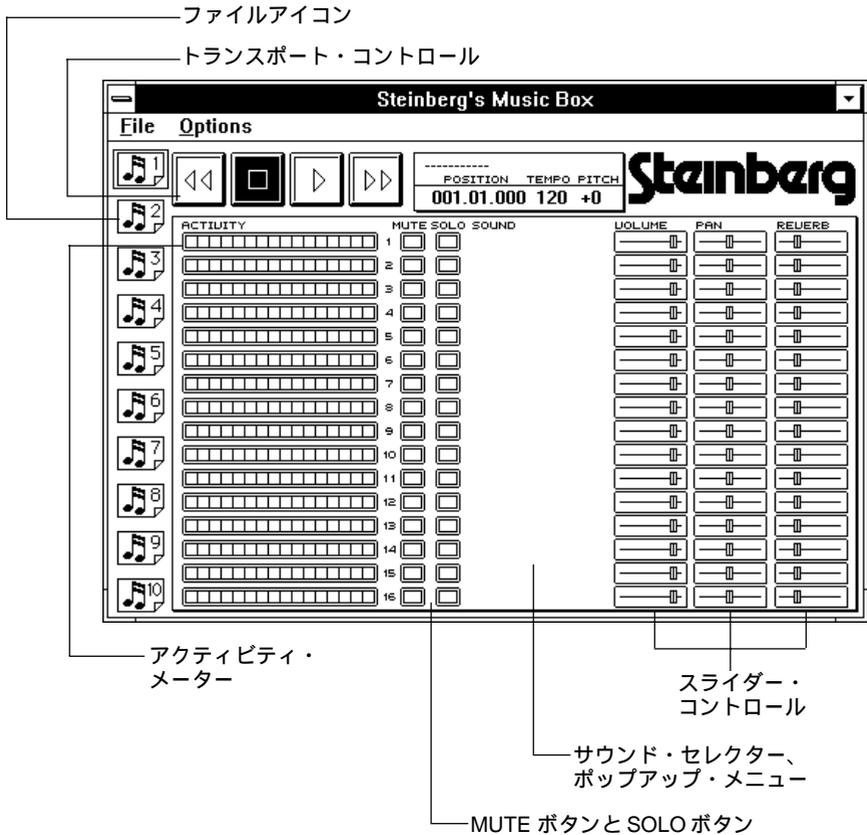
[NEC PC-9800 シリーズの場合]

Windowsのモードにはスタンダードモードとエンハンスモードがあります。MIDI インターフェースとしてNEC PC-9800シリーズ用CBX-T3シリアル・デバイス・ドライバをお使いになる場合はエンハンスモードでだけ動作します。デフォルトでスタンダードモードで立ち上がる機種では、WIN/3でWindowsを立ち上げてみてください。現在のモードはプログラムマネージャのヘルプ・メニューの中の“バージョン情報”を選択して調べられます。メモリー容量やHDD空き容量等の条件によりエンハンスモードに設定できない場合があります。詳細はWindows3.1のマニュアルをご覧ください。

デモ曲集

Windows用ディスクの中に、スタンダードMIDIファイルのデモ曲が入っています。必要に応じ、ハードディスクにコピーしてご使用ください。

Music Box



Music Box とは

Music Box は、最高 10 個までの MIDI ファイルをロードして再生することができます。また、使用している各チャンネルの音色を変更したり、ボリューム、ステレオ定位、およびリバーブの量を変更したりすることができます。

リバーブはリバーブ機能のあるトーンジェネレーターを接続したときだけ効果があります。

MU5 にはリバーブ機能がありません。

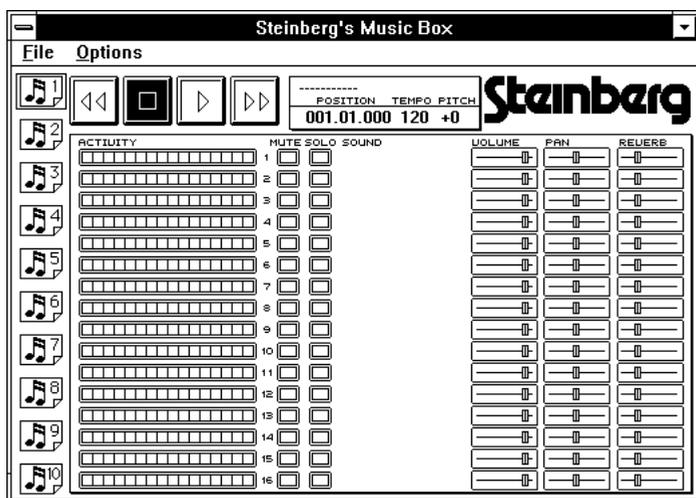
プログラムの起動

Music Box プログラムを起動するには、Music Box アイコンをダブルクリックして下図のアイコンを出します。



Music Box

アイコンをダブルクリックすると下図のMusic Boxメイン画面が表示されます。



ファイル



上図のBox 1から10(ファイルアイコン)はミュージックデータをロードしておく箱を意味しています。

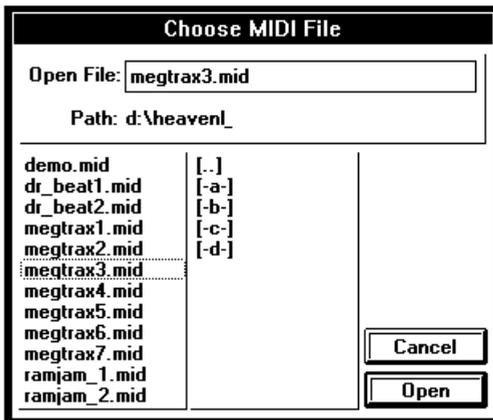
Music Boxを最初に起動したときには、すべてのファイルアイコンが白で表示されています。これは、コンピューターのメモリー内にファイルが1つもロードされていないということを意味します。黒くなっているファイルアイコンはファイルがロードされていることを意味します。前頁の図の例で1番目のファイルアイコンがアウトラインで囲まれています。これは現在再生する対象となっているファイルです。

ファイルを Music Box にロードする

MIDI ファイルをロードするための最も簡単な方法は、ファイルアイコンのうちの1つをマウスでダブルクリックすることです。



ダブルクリックします



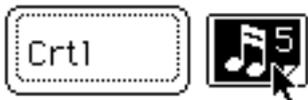
ファイル・セレクター・ボックスが表示されます。その中でMIDIファイルを選択して、Open をクリックしてください。



ファイルがロードされると、ファイルアイコンが反転表示されます

ファイルの削除

[Control]キーを押しながら、削除したいファイルのアイコンをダブルクリックしてください。すると、そのファイルはコンピュータのメモリーから削除されます。



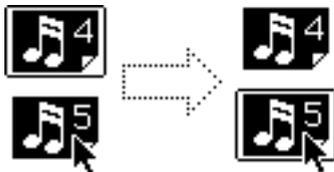
[Control]を押しながらダブルクリックすると



ファイルが削除されます

再生するファイルの選択

ファイルアイコンをクリックすると、そのファイル(曲)が再生する対象として選択されます。



ファイルアイコンをクリックすると、そのファイル(曲)が再生する対象として選択されます。5番をクリックします。5番のファイルが選ばれます。現在選択されているファイルのアイコンは、アウトラインで囲まれています。

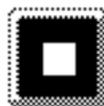
ファイルの再生



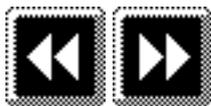
ここでは選んだファイルを再生したり、早送り、巻き戻しの操作をします。ロード済みのファイルから再生したいファイルをクリックして選びます。再生ボタンをクリックすると曲の再生が始まります。



再生を停止する場合は、停止ボタンを1回クリックします。もう1回クリックすると、曲の先頭に戻ります。



残りの2つのコントロールは、早送りボタンと巻き戻しボタンです。巻き戻しボタンは曲の最初に向かって巻き戻し、早送りボタンは曲の最後に向かって早送ります。



デモの再生

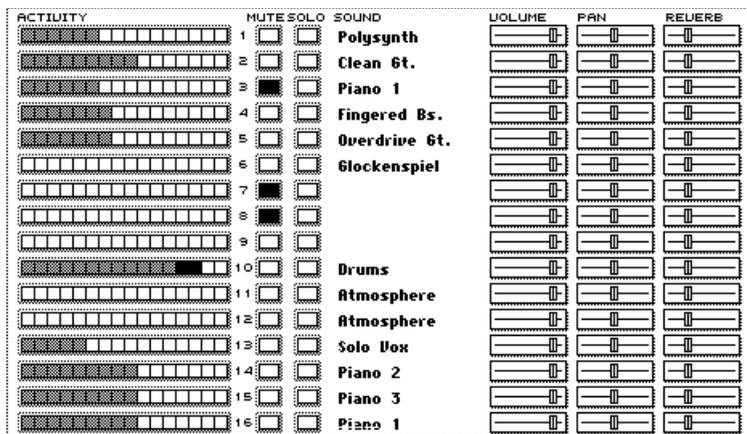
マスターディスクからデモ用ファイルをハードディスクにコピーしてください。(15ページ参照)

希望するファイルアイコンにデモファイルをロードしてください。(15ページ参照)

再生ボタンをクリックします。

ストップします。

ミュージック・ミキサー



各ファイルは、最高16個のMIDIチャンネルで構成されています。MIDIチャンネルについてよく知らない人も、心配する必要はありません。ただ、GM機器では1つのチャンネルが1つの楽器や音色に相当するということだけ覚えておいてください。

個々のチャンネルに関するコントロール

それぞれのチャンネルの横にはそのチャンネルをコントロールする機能が並んでいます。



アクティビティ・バーは、テープレコーダーに付いているレベルメーター（音量）のような働きをします。



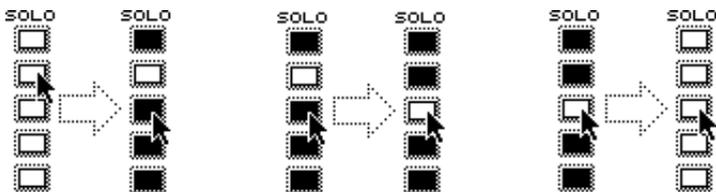
MUTEボタンを使うと、そのチャンネルの音を鳴らないようにすることができます。このボタンが白いときには、そのチャンネルは通常どおりに音が出ます。ボタンが黒いときには、そのチャンネルからは何も聞こえません。音を消したいチャンネルのMUTEボタンをマウスでクリックしてください。



いずれかのSOLOボタンをクリックすると、そのチャンネルからだけ音が聞こえます。他のSOLOボタンはすべて黒くなり、それらのチャンネルの音は一時的に消えます。

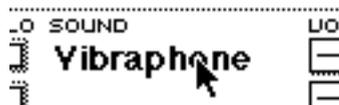
SOLOを選択した状態で他のチャンネルのSOLOを選ぶと、選んだチャンネルがSOLOに変わります。

そのチャンネルをもう一度押すとSOLOはオフになります。

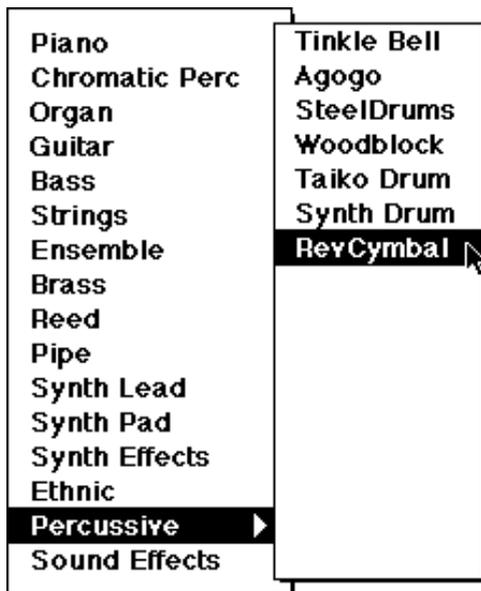


サウンドの変更

サウンド・セレクターでは、各チャンネルの音色が変更できます。ほとんどのMIDIファイルには、各チャンネルのサウンドを選択するメッセージが含まれています。サウンド・セレクターは、使用されているGMモジュールの中でMIDIファイルが選択したサウンドを表示します。



変更したいチャンネルのサウンド・セレクターの上でマウスボタンを押し続けます。



図のように、サウンドリストが表示されます。GMモジュールに収められている128のサウンドがすべて表示されます。これらのサウンドはグループごとに分けられています。左側には、ピアノやギターのようなグループがすべて示されます。右側には、各グループに属しているサウンドが表示されます。例えばPianoグループには、Honky-tonkやElectric Pianoのようなピアノサウンドが含まれています。

左側リストから希望するグループの上にマウスを置き、そのままマウスを右側リストにずらします。使いたいサウンドが見つかったら、マウスをその項目に合わせてその位置でマウスボタンを放してください。

ここで選択した音色はファイル内の記録されてるデータに優先します。

各チャンネルの音色は一度再生したあとに表示されます。

スライダー

ボリューム・スライダー (VOLUME) は、各チャンネルの音量を変更することができます。ボリュームを変更するには、そのハンドルをつかんで左または右に動かしてください。



パン・コントロール (PAN) は、各チャンネルのステレオ音像定位を変更します。この機能は、ステレオ機能があるトーンジェネレーターが接続されている場合にだけ効果があります。



リバーブ・コントロール (REVERB) を使うと、各チャンネルにかけるリバーブの量を選択することができます。この機能は、リバーブ機能のあるトーンジェネレーターを接続したときだけ効果があります。



MU5 にはリバーブ機能はありません。

その他の表示とコントロール

以下のボックス内に現在選択されているファイル名とソングポジション、テンポ、ピッチを表示します。再生するソングポジション、テンポ、ピッチが変更できます。

MEGTRAX7.MID			
POSITION	TEMPO	PITCH	
012.01.000	146	+0	

以下の設定が出来ます。

ファイル名

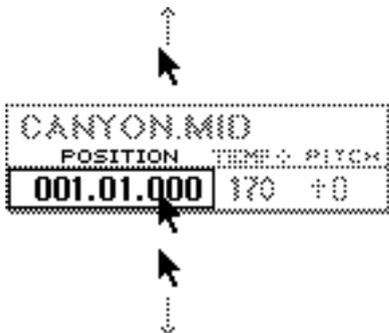
再生されているMIDIファイルの名前は、曲名ボックスの中に表示されます。曲を変更すると、このボックスの中の名前も変わります。



マウスで曲名ボックスを押し続けると、現在ロードされている曲のリストが表示されます。新しい曲を選択すると、それが現在の曲になります。

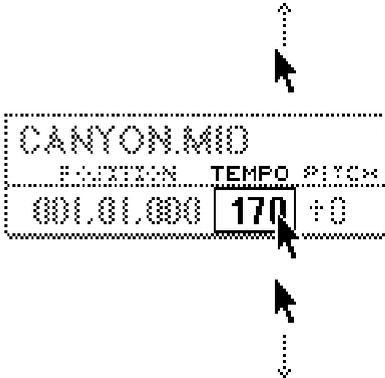
ソングポジション

曲を再生しているときには、ソングポジション・ボックスの中に現在の再生位置が表示されます。このコントロールにマウス・ポインタを合わせてマウスボタンを押さえ、ポインタを上下に動かすと、ソングポジションが変化します。



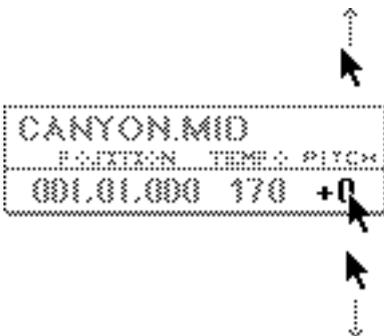
テンポ・コントロール

通常、MIDIファイルではファイル内のテンポ情報によってテンポが自動的に設定され、TEMPOボックスの中に表示されます。再生のテンポを少し速く（または遅く）したい場合は、TEMPOボックスの上でマウスボタンを押して上下に動かしてください。



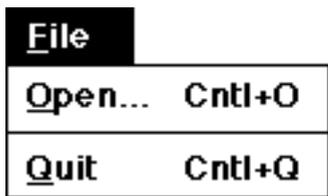
トランスポージャー

再生する音程を半音単位で変更するときはPITCHを選定します。PITCHの下の数字をつかんでマウスを上下に動かすとピッチを変えることができます。ファイルが最初にロードされたとき、この設定は0になっています。



メニュー

File メニュー



MIDI ファイルのオープン

MIDI ファイルをロードする時は Open を選択します。これはファイルアイコンをダブルクリックしたのと同じ結果になりますが、空いているファイルアイコン順に自動的にファイルがロードされる点だけが異なっています。

Quit

プログラムを終了させる時は Quit を選択します。選択すると確認のダイアログが表示され、実行する場合は **Quit** を選択し、中止する場合は **Cancel** を選択します。

Options メニュー



Use GM-Names

この項目が選択されると、サウンド選択リストの中の名前が GM 名として表示されます。この項目を選択しないと、代わりに単純な番号が使用されます。メニューのオン/オフは、選択することによって切り替わります。

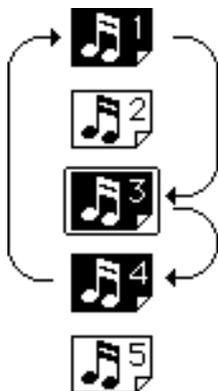
Play All Songs

この項目がオンになっている場合、Music Boxは1つの曲が終わると下の方に他の曲がないかどうか探し、もしあればそれを再生します。メニューのオン/オフは、選択することによって切り替えることができます。



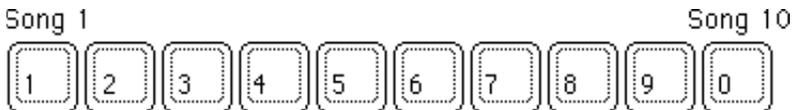
Loop Song List

Loop Song Listが意味をもつのは、Play All Songsが選択されているときだけです。Loop Song Listが選択されているときには、リスト内の最後のMIDIファイルの再生が終わると、先頭のファイルに戻ります。メニューのオン/オフは、選択することによって切り替えることができます。

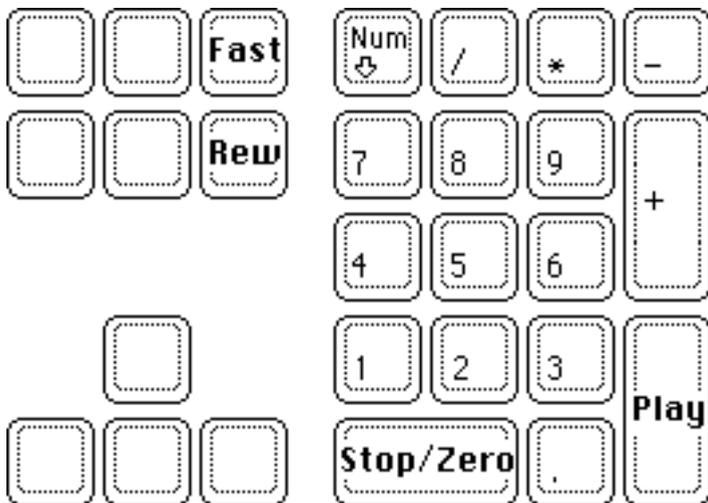


キー・コマンド

再生するMIDIファイルは、コンピューター・キーボードの上部の数字キーを使って選択することもできます。その効果は、メイン画面上でファイルアイコンをクリックしたときとまったく同じです。



コンピューター・キーボードのテンキーパッド上のいくつかのキーは、トランスポート・コントロールとして使用することができます。



この機能は NEC PC-9800 シリーズではご使用になれません。

ご使用の前に

ここでは Music Box をインストールする前に読んでいただきたい注意点について記載します。

ソフトウェア・ライセンス

このマニュアルの 47 ページ以降にソフトウェア・ライセンス契約が記載されています。Music Box をインストールする前に、この契約をお読みください。ディスクのパッケージを開封するとこの契約条件に同意されたものと判断されます。またユーザー登録用紙をご送付いただくと同様に同意された事になります。

ユーザー登録用紙

同封のユーザー登録用紙は必ずヤマハ株式会社 CBX インフォメーションセンターにご送付いただきますようお願いいたします。登録されたお客様は、プログラムの更新に関する情報等、ユーザーサポートサービス（53 ページ参照）を受ける事ができます。必ず登録を済ませてください。

コンピューター

Music Box を使うためには、68020 以上の CPU を持つアップル社製マッキントッシュコンピューターが必要でかつ、RAM は最小限 4MB、システムバージョン 7.0 以降が必要です。

RAM の容量が大きければ大きいほどより多くの MIDI データがロードできます。

セットアップ

マッキントッシュがまだ適切にセットアップされていない場合は、マッキントッシュの操作マニュアルに従って、セットアップしてください。コンピューターの操作について(ディスクの取り扱い、マウスの使い方、クリック、選択、ダブルクリック、およびドラッグ)などの説明はこのマニュアルでは省略します。必要に応じてコンピューターの操作マニュアルをお読みください。

先に進む前に、Mac 版巻頭の「ご使用前に」と巻末の「ソフトウェア・ライセンス契約」をお読みください。ディスクのパックを開封するか、ユーザー登録用紙を送り返すと、この契約の中の条件に同意したことになります。

メモリー容量についての注意

プログラム起動中メモリー不足になると、画面上にメモリー不足の警告があらわれます。この場合、アプリケーションを一度終了して以下の方法でメモリー容量を増やしてください。

MIDI ファイルとメモリーについて

MIDI ファイルは10個のファイルをロードできますが、容量の大きなMIDIファイルがあるとロードできる数が減少します。必要に応じてアプリケーションのメモリーサイズを設定してください。

変更方法：

ファインダーのダイアログボックスよりインフォメーションを選択し、メモリー設定でメモリー容量を変更することができます。詳細に関しては、マッキントッシュユーザーズガイドを参照してください。

メモリー必要条件		
推奨サイズ：	800	K
最小サイズ：	<input type="text" value="800"/>	K
使用サイズ：	<input type="text" value="800"/>	K

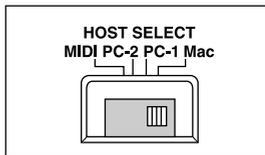
ヤマハ MU5 トーンジェネレーターの設定アップ

ヤマハ MU5 は、MIDI インターフェースを備えた GM 互換トーンジェネレーターです。このジェネレーターは、16 チャンネルの MIDI データを受信して、同時に16種類の音色を再生することができます。MU5 のセットアップ手順は以下のとおりです。

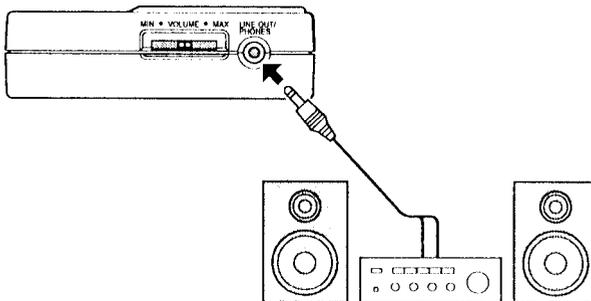
コンピューターとMU5の電源が切れていることを確認してください。

インターフェースケーブル（別売）を使って、MU5 の To Host ポートとコンピューターのシリアルポートを接続します。

MU5 の Host Select スイッチを Mac に設定します。



付属のオーディオケーブルを使って、MU5とオーディオ機器等を接続します。



アプリケーションをハードディスクへコピー

アプリケーションの起動はディスクからもできますが、以下の手順に従って、アプリケーションをハードディスクにコピーしてご使用ください。

他のアプリケーションが立ち上がっていたら終了させてください。マスターディスクを書き込み禁止にしてディスクドライブに入れます。ディスクアイコンをハードディスクアイコン（または、ハードディスクのデスクトップ画面）の上にドラッグしてコピーします。

MU5-Kと書かれたアプリケーションフォルダーが、ハードディスク上に表示されコピーが終了します。次にフロッピーディスクアイコンをゴミ箱までドラッグして、フロッピーをイジェクトします。フロッピーは書き込み禁止状態にして安全な場所に保管してください。

Music Box の起動

Music Boxを起動するために、このアイコンをダブルクリックします。



Music Box

インターフェースの設定のしかた

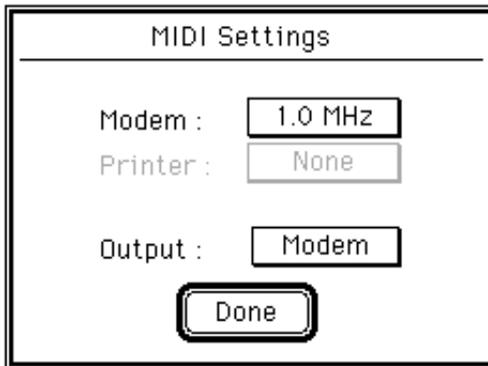
最初に Music Box の MIDI インターフェースを設定をします。

オプションメニューをプルダウンして MIDI インターフェースを選択します。

「MIDIポートセットアップ」のダイアログボックスが現れ、MIDIの設定状態になります。マッキントッシュには、モデムとプリンターとの2つの出力ポートがあり、いずれかを選択します。

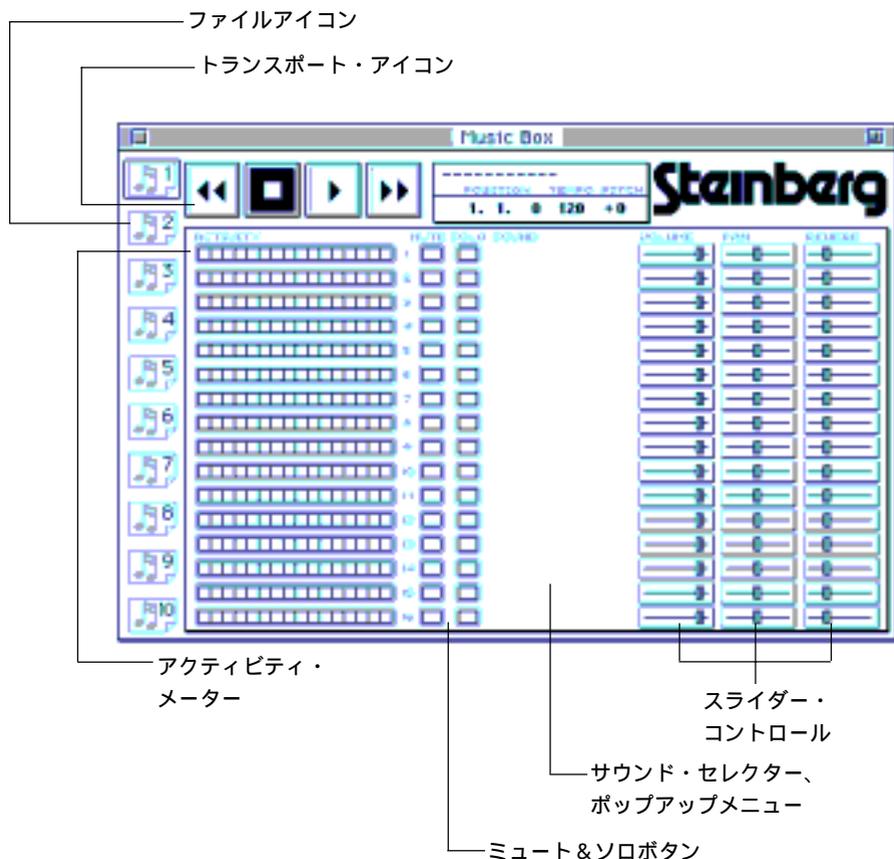
インターフェースのポートが、他の機能、アプリケーション、cdev
あるいは INIT 等で使用されていないか確認して下さい。例えば
AppleTalkをプリンターポートに接続し、同時に音源もプリンター
ポートを使用する場合は、AppleTalkは切っておいてください。

Output横の をクリックして出力ポートを選択します。クロック
レートの選択は MU5 の場合は 1.0MHz に設定します。(他の
ジェネレーターを使用する場合でも通常1MHzを使用しますが、
そのマニュアルに記載されているものを使用してください。)
また、1つだけのインターフェースポートを使用する場合は、も
う一方のポートを使用しないよう設定してください。
Apple MIDI Managerを使用する場合は、パッチプログラムによ
り自動設定されるので MIDI ポートセットアップのダイアログ
ボックスは破線の状態になって現われます。



上の例では Output に Modem を選択しています。
Done をクリックして選択を終了します。

Music Box



Music Box とは

Music Box は、最高 10 個までの MIDI ファイルをロードして再生することができます。また、使用している音色を変更したり、ボリューム、ステレオ定位、およびリバーブの量を変更したりすることができます。

リバーブはリバーブ機能のあるトーンジェネレーターを接続したときだけ効果があります。

MU5 にはリバーブ機能がありません。

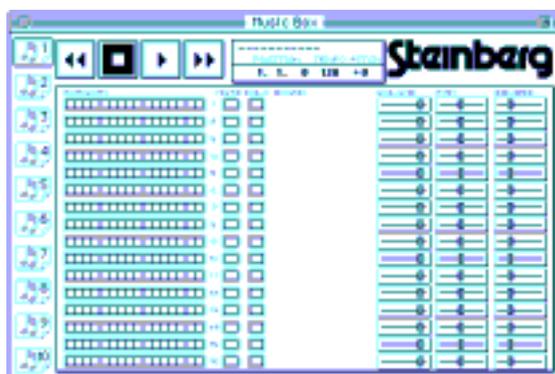
プログラムの起動

Music Box アプリケーションを起動するには、Music Box アイコンをダブルクリックします。



Music Box

しばらくすると Music Box のメイン画面が表示されます。



ファイル



上図の Box 1 から 10 (ファイルアイコン) はミュージックデータをロードしておく箱を意味しています。

Music Box を最初に起動したときには、すべてのファイルアイコンが白で表示されています。これは、コンピューターのメモリー内にファイルが 1 つもロードされていないということを意味します。

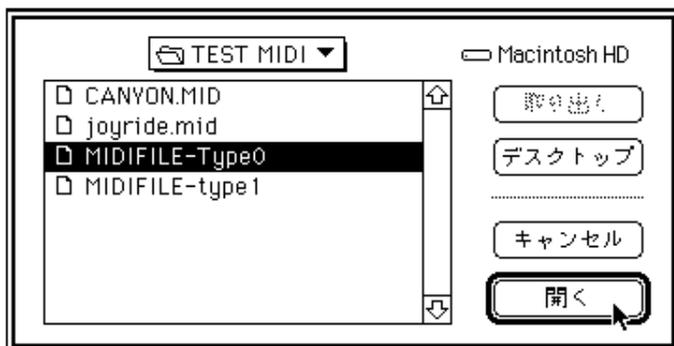
黒くなっているファイルアイコンはファイルがロードされていることを意味します。前頁の図の例で1番目のファイルアイコンがアウトラインで囲まれています。これは現在再生の対象となっているファイルです。

ファイルを Music Box にロードする

MIDI ファイルをロードするための最も簡単な方法は、ファイルアイコンのうちの1つをマウスでダブルクリックすることです。



ファイルをロードするには、ファイルアイコンをダブルクリックします。



ファイル・セレクター・ボックスが表示されます。その中でMIDIファイルを選択して、開くをクリックして下さい。



ファイルがロードされると、ファイルアイコンが反転表示されます。

ファイルの削除

[Command]キーを押しながら削除したいファイルのアイコンをダブルクリックしてください。



ファイルが削除されます。

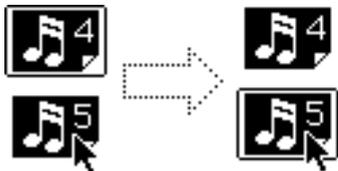
そのファイルはコンピューターのメモリーから削除されます。



アイコン表示が白に変わります。

再生するファイルの選択

ファイルアイコンをクリックすると、そのファイル(曲)が再生する対象として選択されます。現在選択されているファイルのアイコンは、アウトラインで囲まれています。



5番をクリックします。5番のファイルが選ばれます。

ファイルの再生



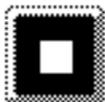
ここでは選んだファイルを再生したり、早送り、巻き戻しの操作をします。

ロード済みのファイルから再生したいファイルをクリックして選びます。

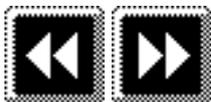
再生ボタンを1回クリックすると、曲の再生が始まります。



再生を停止する場合は、停止ボタンを1回クリックします。もう1回クリックすると、曲の先頭に戻ります。



残りの2つのコントロールは、早送りボタンと巻き戻しボタンです。巻き戻しボタンは曲の最初に向かって巻き戻し、早送りボタンは曲の最後に向かって早送りします。



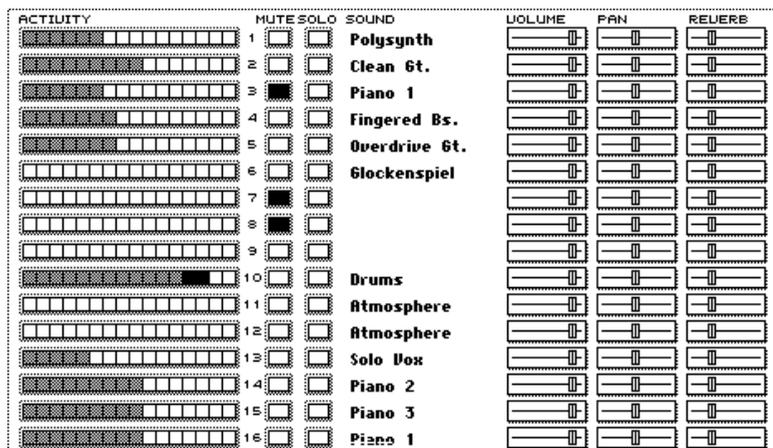
デモの再生

「アプリケーションをハードディスクへコピー」の項の方法でマスターディスクからアプリケーションをコピーしている場合、デモファイルも自動的にハードディスクにコピーされています。

希望するファイルアイコンにデモファイルをロードしてください。(34 ページ参照)

再生ボタンをクリックします。(36 ページ参照)
ストップします。

ミュージック・ミキサー



各ファイルは、最高16個のMIDIチャンネルで構成されています。MIDIチャンネルについてよく知らない人も、心配する必要はありません。ただ、GM機器では1つのチャンネルが1つの楽器や音色に相当するということだけ覚えておいてください。

個々のチャンネルに関するコントロール

それぞれのチャンネルの横にはそのチャンネルをコントロールする機能が並んでいます。

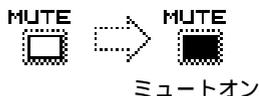


アクティビティ・バーは、テープレコーダーに付いているレベルメーター（音量）のような働きをします。

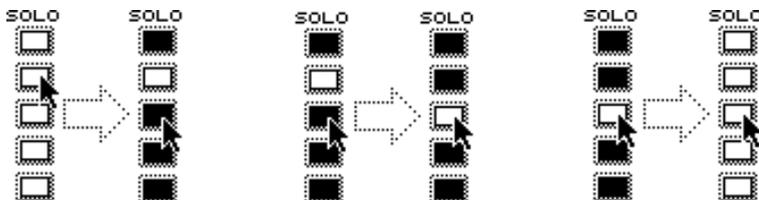


MUTEボタンを使うと、そのチャンネルの音を鳴らないようにすることができます。このボタンが白いときには、そのチャンネルは通常どおりに音が出ます。ボタンが黒いときには、そのチャンネルからは何も聴こえません。

消したいチャンネルのMUTEボタンをマウスでクリックしてください。



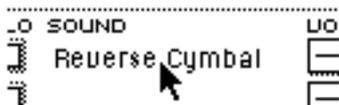
いずれかのSOLOボタンをクリックすると、そのチャンネルからだけ音が聴こえます。他のSOLOボタンはすべて黒くなり、それらのチャンネルの音は一時的に消えます。SOLOを選択した状態で他のチャンネルを選ぶと、選んだチャンネルがSOLOに変わります。そのチャンネルをもう一度クリックするとSOLOはオフになります。



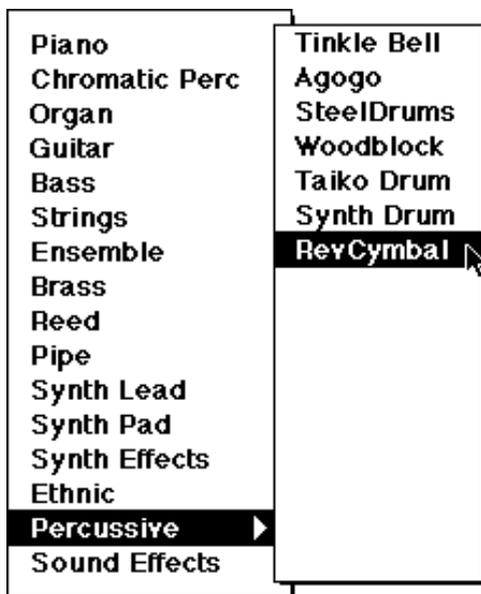
サウンドの変更

サウンド・セレクターは、各チャンネルの音色を変更することができます。

ほとんどのMIDIファイルには、各チャンネルのサウンドを選択するメッセージが含まれています。サウンド・セレクターは、使用されているGMの中でMIDIファイルが選択したサウンドを表示します。



変更したいチャンネルのサウンド・セレクターの上でマウスボタンを押し続けます。



図のようにサウンドリストが表示されます。GMに収められている128のサウンドがすべて表示されます。これらのサウンドはグループごとに分けられています。左側には、ピアノやギターのようなグループがすべて示されます。

右側には、各グループに属しているサウンドが表示されます。例えばPianoグループには、Honky-tonkやElectric Pianoのようなピアノサウンドが含まれています。

左側リストで希望するグループの上にマウスを置き、そのままマウスを右側リストにずらします。使いたいサウンドが見つかったら、マウスをその項目に合わせてその位置でマウスボタンを放してください。

ここで選択した音色はファイル内の記録されてるデータに優先します。

各チャンネルの音色名は一度再生したあとに表示されます。

スライダー

ボリューム・スライダー(VOLUME)で各チャンネルの音量を変更することができます。ボリュームを変更するには、そのハンドルをつかんで左または右に動かしてください。



パン・コントロール(PAN)は、各チャンネルのステレオ音像定位を変更します。この機能は、ステレオ機能があるサウンド・モジュールが接続されている場合にだけ効果があります。



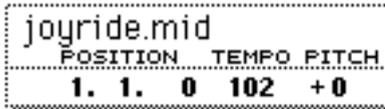
リバーブ・コントロール (REVERB) を使うと、各チャンネルにかけるリバーブの量を選択することができます。この機能は、リバーブ機能のあるトーンジェネレーターを接続したときだけ効果があります。



MU5 にはリバーブ機能はありません。

その他の表示とコントロール

以下のボックス内に現在選択されているファイル名とソングポジション、テンポ、ピッチを表示します。再生するソングポジション、テンポ、ピッチが変更できます。



ファイル名

再生されているMIDIファイルの名前は、曲名ボックスの中に表示されます。曲を変更すると、このボックスの中の名前も変わります。



マウスで曲名ボックスを押し続けると、現在ロードされている曲のリストが表示されます。新しい曲を選択すると、それが現在の曲になります。

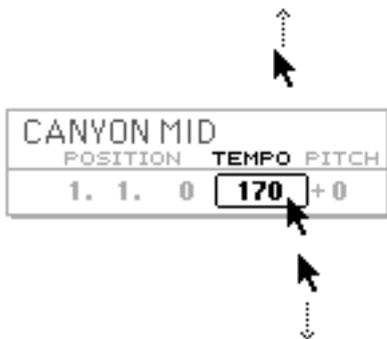
ソングポジション

曲を再生しているときには、ソングポジション・ボックスの中に現在の再生位置が表示されます。このコントロールにマウス・ポインターを合わせてマウスボタンを押さえ、ポインターを上下に動かすと、ソングポジションが変化します。



テンポ・コントロール

通常、MIDI ファイルではファイル内のテンポ情報によってテンポが自動的に設定され、TEMPO ボックスの中に表示されます。曲の再生のテンポを少し速く（または遅く）したい場合は、TEMPO ボックスの上でマウスボタンを押して上下に動かしてください。



トランスポーター

再生する音程を半音単位で変更するときはPITCHを選定します。PITCHの下の数字をつかんでマウスポインターを上下に動かすとピッチを変えることができます。

ファイルが最初にロードされたとき、この設定は0になっています。



メニュー

File メニュー



MIDI ファイルのオープン

MIDI ファイルをロードするときは Open MIDI File を選択します。これはファイルアイコンをダブルクリックしたのと同じ結果になりますが、空いているファイルアイコン順に自動的にファイルがロードされる点だけが異なります。

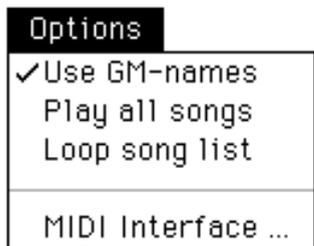
Quit

プログラムを終了させる場合は Quit を選択します。選択すると確認のダイアログが表示されます。実行する場合は **Quit** を選択し、中止する場合は **Cancel** を選択します。

エディットメニュー

Music Boxのエディットメニューは特に機能がなく、マッキントッシュのディスクアクセサリに該当するものです。

Options メニュー

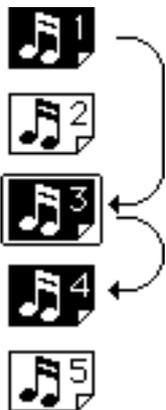


Use GM-Names

この項目が選択されると、サウンド選択リストの中の名前がGM名として表示されます。この項目を選択しないと、代わりに単純な番号が使用されます。メニューのオン/オフは、選択することによって切り替わります。

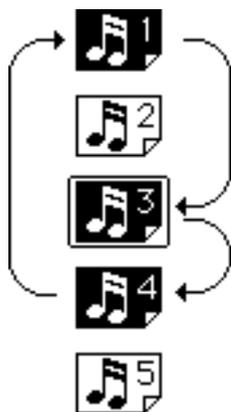
Play All Songs

この項目がオンになっている場合、Music Boxは1つの曲が終わると下の法に他の曲がないかどうか探し、もしあればそれを再生します。メニューのオン/オフは、選択することによって切り替えることができます。



Loop Song List

Loop Song Listが意味をもつのは、Play All Songsが選択されているときだけです。Loop Song Listが選択されているときには、リスト内の最後のMIDIファイルの再生が終わると、先頭のファイルに戻ります。メニューのオン/オフは、選択することによって切り替えることができます。



キー・コマンド

再生するMIDIファイルは、コンピューター・キーボードの上部の数字キーを使って選択することもできます。その効果は、メイン画面上でファイルアイコンをクリックしたときとまったく同じです。



拡張キーボードでナンバーパッドがある場合は、それらのいくつかのキーはトランスポート・コントロールとして使用することができます。



ソフトウェア・ライセンス

Music Box の所有者へのお知らせ

Music Box ファイル・プレイヤー・プログラムは、Steinberg Soft-und Hardware GmbH 社（以下 Steinberg とする）が開発したプログラムです。Steinberg は、10 年近くにわたってアマチュアおよびプロのミュージシャンのためのプログラムを開発してきました。今日のポピュラー・ミュージックの多くは、Steinberg の Cubase プログラムを使って、ミュージシャンによって書かれたりレコーディング・スタジオの中でプロデュースされたものです。

ソフトウェア・ライセンス契約

以下に Steinberg 製のソフトウェアを購入者が利用するにあたっての契約条件を記します。ディスクの密封パッケージの開封、あるいはユーザー登録用紙の返送は、購入者がこれらの契約条件に同意することの意思表示となります。従って、以下の内容を最初から最後まで注意深く読んでください。契約条件に同意しない場合は、ディスクを開封しないでください。同意しない場合は、未開封のディスクと、製品のその他の購入部品（資料一切、パッケージ内容一切、付属のハードウェア一切等）ともども、購入先のディーラーに速やかに返却してください。支払った料金は全額返金します。

契約条件

1. 契約の対象

契約の対象は、ディスクに記録されたコンピュータープログラムならびに関連する使用説明書、プログラム説明書およびハードウェア（ dongle など）から構成される。これらについては以下「ライセンスソフト」もしくは「ライセンスハード」と称する。

2. 使用範囲

本契約の期間中、スタインバーグは、購入者に対し、非独占的かつ譲渡不可能な権利として、単独の場所に設置した単一のコンピューター（すなわち CPU が 1 個）においてライセンスソフトおよびライセンスハードを使用する権利（以下「ライセンス」とする）を与える。この単一のコンピューターが、複数ユーザの利用するシステムに接続されていた場合、本ライセンスは当該システムの全ユーザに適用される。

購入者はライセンスソフトまたはライセンスハードを、自分で別のコンピューターにおいて一時的に使用することができるが、これを第三者に行わせてはならず、ライセンスソフトおよびライセンスハードを、通常は 1 台のコンピューターのみで利用していることを条件とする。この制限を超えて利用することはできない。

3. コピーの許可

購入者は、使用後、または事故発生時にライセンスソフトを交換もしくは再構成しようとの意図からのコピー作成であれば、本契約により譲渡された権利の関連でのみ使用することを条件として、保管を目的として、ライセンスソフトについて機械で読み取り可能なコピーを取る権利を与えられる。

購入者は、別の CPU のコアメモリーにライセンスソフトを転送することはできない。

購入者は、作成したコピー一切ならびにその保管場所について記録しておく義務がある。濫用の疑いの生じた場合、購入者はいつでもスタインバーグに対し、この記録を提示するものとする。

本契約あるいは本ライセンスソフトおよびライセンスハードを対象とする付随契約の満了に際し、購入者は、要請の有無に関わらず、機械で読み取り可能な形式のものであれそれ以外の形態のものであれ、ライセンスソフトのコピー一切を全面的に破棄する義務を負

う。付属資料についても同様とする。ライセンスソフトが電子的に保存されている場合は、これを全面的に削除する。また、この義務が履行された旨の、法的拘束力のある宣言をスタインバーグに対して出すこととする。

購入者がスタインバーグから受領したソフトウェア原本については、上記の破棄または削除を行わない。

4. ライセンスソフト、ライセンスハードに関するスタインバーグの権利
スタインバーグもしくはスタインバーグの許可を受けた再版業者は、ライセンスソフトおよびライセンスハード、ならびに本契約の締結に際して購入者に提供されたその資料、ディスク、印刷物などに対し、所有権およびその他の権利一切を保有する。スタインバーグが購入者である場合、スタインバーグは、本契約記載の条件によりライセンスソフトおよびライセンスハードを提供する権利を保有する。

本契約の期間中に購入者が製作するライセンスソフトおよび/または資料のコピー一切の所有権については、購入者がこれを譲渡し、スタインバーグがこれを受け入れるものとし、ここには、購入者が本契約に違反して作成したものも含まれる。ディスク、ディスク、またはあらゆる種類のテープに対する所有権も同様に譲渡されるが、ただし、CPUのコアメモリー内の分離不可能なコピーについてはこれを除く。

コピーを作成したときは必ずスタインバーグの著作権表示を付すものとし、機械で読み取り可能な形式(機械で読み取るコピーを作成した場合)で、および/または単純な文言で、上述のスタインバーグの権利一切についても表示するものとする。上記各項で定義したスタインバーグの所有権およびその他一切の権利の表示は、はっきりと目につきやすいように、ライセンスソフトを記憶させたディスク、ディスクおよびあらゆる種類のテープに、印刷するかまたはしっかりと貼付する。ライセンスソフトおよびライセンスハードの資料ならびにこの使用の保管容器についても同様である。

5. ライセンスソフトおよびライセンスハードの機密保持

購入者はスタインバーグから受領したライセンスソフト、そのコピー一切および関連資料一切を、自身の目的のためにのみ使用し、第三者に対しては機密として保持するものとする。購入者は、第三

者および権限のない自社従業員がライセンスソフトを利用したり、ライセンスソフトの一部または全部をコピーしたり、これを行う機会を得たりすることが決してないようにする。購入者は、購入者がプログラムの機密を保持しなかった、あるいは十分な配慮をもってこれを行わなかった結果としてスタインバーグが損失を被った場合、これに続いて生じた損失または損害一切について、スタインバーグに対して法的な責任を負う。

特に、購入者には、ライセンスソフトまたはライセンスハードの利用権を第三者に供与する権限がない。

第三者の一時的使用は、購入者による利用に関して絶対的に重要である場合にのみ許容される。ライセンスソフトおよびライセンスハードの賃貸または貸出は、ここに明文をもって禁止する。

6. 保証および法的責任

スタインバーグおよび購入者は、現在の技術知識では、きわめて注意深く開発したのであっても、ライセンスソフトの機能不良が完全には除かれ得ないことを認識する。従って、ライセンスソフトの機能および/または不良一切の修正を無制限に完全保証することはできない。

従って、本契約により定める将来のバージョンアップを含めて、ライセンスソフトに含まれるプログラミング上のエラーに関し、スタインバーグは、スタインバーグの意図的な行動または重大な過失による場合に限って法的責任を負う。

以上を述べた上で、スタインバーグは、契約締結の時点において、ライセンスソフトおよびライセンスハードには通常の使用条件でいかなる材料不良も技術不良も生じないことを購入者に対し保証する。万一、ディスクともしくはライセンスハードが不良品であると判明した場合、購入者は、ライセンスソフトおよびライセンスハードの受領後6ヶ月以内であれば、その交換を要求することができる。この場合、ライセンスソフトを記憶させたディスク(予備のコピーを含む)およびライセンスハードを、ハンドブックや資料、請求書/受領書のコピーと共に、国内のスタインバーグの販売組織または購入先のディーラーに返却するものとする。

スタインバーグは、本契約締結後6ヶ月の期間にわたり、ライセンスソフトおよびライセンスハードについて、仕様書およびプログラム説明通りの機能を確保するために期待されることをすべて行う。

この保証は、ライセンスソフトおよびライセンスハードを定められた構成で、適切な動作条件で使用していることを条件とする。スタインバーグは、動作の中断がない、または故障がないとの保証はしない。

購入者がライセンスソフトまたはライセンスハードを変更したり、なんらかの形でこれを修正した場合、その修正の程度に関わらず、購入者の保証要求はすべて、無効となる。ライセンスソフトを他のプログラム言語に翻訳することも、修正とみなされる。

スタインバーグの裁量により、保証の内容を、ライセンスソフトもしくはライセンスハードの変更あるいは異なるライセンスソフトまたはライセンスハードへの交換とすることができる。保証に伴って、ライセンスソフトの範囲が変更になった場合、特にプログラムに必要な記憶容量が増大した場合、購入者はスタインバーグに対して何も要求することはできない。

購入者は、上記の内容に関して何の権利もしない。スタインバーグは、ライセンスソフトやライセンスハード、あるいは使用される他のプログラムおよび/またはハードウェアに対する損失や損害に関して、また、作業結果、売上、利益の損失に関して、もしくは購入者や第三者が被る直接または間接の損失または損害に関して責任を負わないが、ただし、当該の損失または損害が、スタインバーグの意図的な行為または重大な過失により生じた場合はこの限りでない。スタインバーグは特に、ライセンスソフトまたはライセンスハードが購入者の要求条件および目的に適合している、あるいは購入者がすでに選択した他のプログラムと共に動作できるとの保証はしない。適切な選択、ライセンスソフトおよびライセンスハードの使用、ならびにめざす結果や達成される結果については、購入者が責任をもつものとする。

7. 契約期間および解約通知

本契約は、ディスクットの密封パッケージを開封した瞬間に、あるいはユーザー登録用紙の返送時に発効し、購入者もしくはスタインバーグのいずれかが解約通知を送付するまで有効であり、その期間は定まっていない。

購入者はいつでも、書留郵便により、解約 30 日前に解約の通知を出すことができる。

両当事者とも、重大な理由があるときは、特別な解約通知を自由に

出すことができる。購入者が上記の義務のいずれかに違反した場合、これはスタインバーグが契約を解約する重大な理由と考えられる。スタインバーグは自らの裁量でこの通知の送達方法を自由に決めることができる。

解約の通知が発効したらすぐに、購入者はスタインバーグに対し、スタインバーグから受領したライセンスソフトおよびライセンスハードの原本を返還し、ライセンスソフトのコピーおよび記録をすべて破棄し、この通り履行した旨の法的拘束力のある保証書を提出する。

8. 締結規定

本契約は、契約が発行される州の州法のみ準拠するものとする。購入者は、この事業関係を通じて得た個人的なデータをスタインバーグが自社の目的、および自社グループの目的のために使用することについて、関連するデータ保護法規の趣旨の範囲内で、同意することを表明する。

本ライセンス契約の規定がひとつでも、全面的にまたは部分的に無効となった場合、これは、他の規定の有効性には影響しないものとする。両当事者は、無効となった規定を、できる限り本来意図されていた目的に沿った有効な規定に差し替えることを約束する。

裁判管轄は、国内の販売会社または代理店の所在地の裁判所とする。ただしスタインバーグは、その自由な裁量により、購入者の登記上の所在地において訴訟を起こすこともできる。

本ライセンス契約に関して疑問がある場合、または何かスタインバーグと話し合いたいことがある場合は、ヤマハ株式会社CBXインフォメーション迄ご連絡ください。(連絡先は次ページ以降参照)

ユーザーサポートサービス

ユーザー登録のご案内

弊社では、ユーザーの方々をサポートし、関連情報をご提供するために、Hello! Music! Firstをご購入いただいたお客様を登録させていただいております。

つきましては、Hello! Music! Firstに同梱しております「ユーザー登録用紙」に必要事項をご記入の上、「ユーザー登録用紙返送用封筒」にて至急ご返送くださいますようお願い申し上げます。

また、ご登録いただいた「ご住所」、「お名前」などを変更された場合は「製品名」、「製造番号」(プログラムディスクに印刷されている番号)、「旧住所/旧氏名」、「新住所/新氏名」を明示の上、ご面倒でもCBX インフォメーションセンターまで郵便でご通知ください。

ユーザーサポートサービスのご案内

サービスの種類によっては、ディスクの返送が必要となります。ディスクのラベルをはがしたり、破損させたりしないようご注意ください。(ラベルによって弊社製品と判断します。)

お送りいただいたディスクが弊社製品と確認できない場合やお客様による「ユーザー登録手続き」が完了していない場合、ユーザーサポートサービスはいたしかねます。あらかじめご了承ください。

「ユーザー登録手続き」を完了された方に限り、以下のサポートを行わせていただきます。

無償サポートサービスについて

購入時、正常に動作しない場合のディスクの修復

製品には万全を期しておりますが、万々Hello! Music! Firstのオリジナルディスクに記録されたプログラムなどの内容が、ご購入時点で、破壊や欠損を起こしている為に正常に動作しない場合、これらの内容を修復させていただきます。下記の「無償サポートサービスの申し込み方法」にしたがってお申し込みください。

お送りいただく前に、お手数とは存じますが必ず次ページの「CBX インフォメーションセンター」までお電話、またはご書面でご連絡ください。

無償サポートサービスの申込方法

- 1 「修復の必要なオリジナルディスク」のほかに、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」、「製造番号」(プログラムディスクに印刷されている番号)、「動作の状態」をご明記いただきご返送ください。
- 2 ご返送の途中でディスクが破損しないように、包装には十分ご注意ください。
(ご返送の途中でディスクが破損または紛失した場合、弊社では責任を負いかねます。)
- 3 ご返送には、郵便書留か宅配便をご利用ください。
(宅配便の場合は、着払(弊社負担)をご利用いただけます。)

質問の受付

Hello! Music! Firstの使用方法およびユーザーサポートサービスなどについて、郵便・電話による質問をお受けいたします。CBXインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

お問い合わせの際には、「製品名」、「製造番号」(プログラムディスクに印刷されている番号)、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」を必ず明示してください。また、「ご使用のパソコンの種類」、「操作の手順やそれによる結果と状態」、「入力されたデータの内容」なども詳しくお知らせください。お客様からの情報が不足している場合は、ご返事できない場合があります。

MU5-Kに関する質問やお問い合わせは、「CBXインフォメーションセンター」がお受けいたします。

CBX インフォメーションセンター

〒150 東京都渋谷区道玄坂2 - 10 - 7 新大宗ビル3F
ヤマハ(株) R&D 東京内 CBX インフォメーションセンター

TEL 03-5458-2484

FAX 03-3780-3760

受付日 月曜日～金曜日(祝日および弊社の休業日を除く)

受付時間 10:30～13:00 / 14:00～17:00

有償サポートサービスについて

有償サポートサービスの内容

お客様が Hello! Music! First を使用中に、オリジナルディスクを破損された場合、有償でそれらの内容を購入時と同等に修復いたします。必要事項をご記入の上、手数料(各 ¥3,000)とオリジナルディスクを添え「有償サポートサービスの申し込み方法」にしたがってお申し込みください。

また、オリジナルディスクを紛失された場合、有償でオリジナルディスクの再発行をいたします(フロッピーディスク Windows 用または Macintosh 用: 各 ¥8,000)。

お申し込みになる前に、必ず CBX インフォメーションセンターまで電話でご連絡ください。

有償サポートサービスの申し込み方法

CBX インフォメーションセンター宛に直接お申し込みください。このサービスは、お買い上げの販売店では、受け付けておりません。

- 1 次頁の有償サポートサービスの「申込書」に必要事項をもれなくご記入の上、手数料とともに、CBX インフォメーションセンターまで現金書留にてお送りください。
 - ・お客様から CBX インフォメーションセンターへの送料は、お客様にてご負担ください。
- 2 オリジナルディスクを送付される場合は、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」、「製造番号」(プログラムディスクに印刷されている番号)を明記して、CBX インフォメーションセンターまで、郵便書留にてお送りください。郵送の途中でオリジナルディスクが破損しないように、十分注意して包装してください。
 - ・普通郵便などでお送りになられた際の事故につきましては、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - ・必ずご登録していただいた「ご住所」、「お名前」で、お申し込みください。
 - ・お申し込みいただきましたオリジナルディスクは、手数料の確認の後、登録されたご住所に発送いたします。お申し込み後、2 週間を過ぎても製品が届かない場合は、CBX インフォメーションセンターまでご連絡ください。

破損オリジナルディスクの修復申し込み

有償サポートサービスの「破損オリジナルディスクの修復」の申し込みをされる場合は、下の申込書をコピーしてご使用ください。

「Hello! Music! First」MU5-K
破損オリジナルディスク修復申込書

ご住所	-
お名前	
電話番号	
製造番号（プログラムディスクに印刷されている番号）	
破損ディスク（ 枠の中に4印をつけてください） フロッピーディスク Windows 用 フロッピーディスク Macintosh 用	

破損オリジナルディスクの修復手数料は、各 ¥3,000 です。

「Hello! Music! First」MU5-K
紛失による再発行申込書

ご住所	-
お名前	
電話番号	
再発行申し込みディスク（ 枠の中に4印をつけてください） フロッピーディスク Windows 用 フロッピーディスク Macintosh 用	

再発行手数料は、フロッピーディスク
Windows 用または Macintosh 用各 ¥8,000 です。

商品に関するお問い合わせ窓口
CBX インフォメーションセンター

〒150 東京都渋谷区道玄坂 2-10-7 新大宗ビル 3F

TEL: 03-5458-2484

営業窓口

電子楽器営業部 CBX 楽器営業課

〒430 静岡県浜松市中沢町 10-1

TEL: 053-460-2432

ヤマハ株式会社